
1. 学歴

1983 年 3 月 京都大学経済学部卒業
1988 年 9 月 マサチューセッツ工科大学経済学部博士課程入学
1992 年 6 月 同校卒業, Ph. D. in economics 取得

2. 職歴・研究歴

1983 年 4 月 - 1987 年 8 月 住友信託銀行勤務
1987 年 9 月 - 1988 年 8 月 スタンフォード大学経済学部客員研究員
1992 年 7 月 - 1995 年 6 月 プリティシュ・コロンビア大学経済学部助教授
1995 年 7 月 - 1998 年 3 月 京都大学経済学部助教授
1998 年 4 月 - 2001 年 3 月 大阪大学大学院経済学研究科助教授
2001 年 4 月 - 一橋大学大学院経済学研究科教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

金融ファイナンス A, マクロ経済学

(b) 大学院

金融経済論 I, 上級マクロ経済学, 中級マクロ経済学

B. ゼミナール

学部後期, 大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部・大学院の講義については、テキストや論文を徹底的に読む、きっちりとしたノートを作る、計算問題をどんどん解いていく、授業中やオフィスアワーを通じてできるだけ議論をするという演習的な側面を重視していきたい。

学部ゼミについては、資産価格、企業金融、ファイナンス理論に関係するトピックスについて自らでロジカルに考える習慣をつけることを目指す。英語と数学を大切にしていきたい。

大学院ゼミナールについては、マクロ経済理論やファイナンス理論に厳密に依拠した実証研究を指導していく。「出版を前提として論文を書く」という側面を重視する。

4. 主な研究テーマ

- (1) 不完備市場下の資産価格形成
- (2) 流動性と資産価格形成

- (3)マーケットマイクロストラクチャー
- (4)マクロ経済学
- (5)金融政策
- (6)エネルギー, 自然災害リスク, 排出権などに関する新しいタイプの金融取引

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

- 『経済政策とマクロ経済学』, 岩本康志・大竹文雄・齊藤誠・二神孝一, 252 頁, 1999 年 10 月, 日本経済新聞社。
- 『金融技術の考え方・使い方: リスクと流動性の経済学』, 齊藤誠, 389 頁, 2000 年 7 月, 有斐閣。
- 『金融機能と規制の経済学』, 岩本康志・齊藤誠・前多康男・渡辺努, 226 頁, 2001 年 10 月, 東洋経済新報社。
- 『日本の金融再生戦略: 新たなシステムの構築をどうするか』, 齊藤誠編著, 3-50 頁, 281-289 頁, 2002 年 5 月, 中央経済社。
- 『先を見よ、今を生きよ: 市場と政策の経済学』, 齊藤誠, 292 頁, 2002 年 6 月, 日本評論社。
- 『流動性の経済学: 金融市場への新たな視点』, 齊藤誠・柳川範之編著, 1-22 頁, 127-156 頁, 209-224 頁, 2002 年 6 月, 東洋経済新報社。
- 『新しいマクロ経済学 新版』, 齊藤誠, 411 頁, 2006 年 10 月, 初版, 273 頁, 1996 年 10 月, 有斐閣。
- 『成長信仰の桎梏: 消費重視のマクロ経済学』, 齊藤誠, 228 頁, 2006 年 12 月, 勁草書房。
- 『資産価格とマクロ経済』, 齊藤誠, 362 頁, 2007 年 6 月, 日本経済新聞出版社。
- 『New Liberal Arts Selection: マクロ経済学』, 齊藤誠・岩本康志・太田聡一・柴田章久, 722 頁, 2010 年 4 月, 有斐閣。
- 『競争の作法 いかに働き、投資するか』, 齊藤誠, 233 頁, 2010 年 6 月, ちくま新書。
- 『原発危機の経済学』, 齊藤誠, 286 頁, 2011 年 10 月, 日本評論社。
- 『人間行動から考える地震リスクのマネジメント: 新しい社会制度を設計する』, 齊藤誠・中川雅之編著, 299 頁, 2012 年 3 月, 勁草書房。

(b) 論文(査読つき論文には*)

- * "A study of household investment patterns in Japan: An application of generalized Tobit model," Takeshi Amemiya, Makoto Saito and Keiko Shimono, *The Economic Studies Quarterly* 44: 1 (1993), pp. 13-28, and in Takeshi Amemiya, *Studies in Econometric Theory: The Collected Essays of Takeshi Amemiya*, Economists of the Twentieth Century Series, Aldershot, U.K.: Elgar; distributed in the U.S. by Ashgate, Brookfield, Vt., (1994), pp. 454-469.
- "Development of modern macroeconomics: An expository note," Makoto Saito, *The Kyoto University Economic Review* LXV (1995), pp. 43-52.
- * 「人口高齢化と消費の不平等度」, 大竹文雄・齊藤誠, 『日本経済研究』33: 11(1996), 11-35 頁。
- * 「フォワード・プレミアム・パズル: 展望」, 福田祐一・齊藤誠, 『現代ファイナンス』1(1997), 5-18 頁, 巻頭論文。
- * "Growth and risk sharing with incomplete international assets markets," Michael Devereux and Makoto Saito,

Journal of International Economics 42 (1997), pp. 453-481.

- * "A note on ergodic distributions in two-agent economies," Makoto Saito, *Journal of Mathematical Economics* 27 (1997), pp. 133-141 (the lead article of this issue).

「人口高齢化と消費の不平等度」, 大竹文雄・齊藤誠, 八田達夫・八代尚宏編『社会保険改革: 年金, 介護, 医療, 雇用保険の再設計』1998 年 5 月, 日本経済新聞社。

- * "A simple model of incomplete insurance: The case of permanent shocks," Makoto Saito, *Journal of Economic Dynamics and Control* 22 (1998), pp. 763-777.

- * "Incomplete markets and non-expected utility," Makoto Saito, *Japanese Economic Review* 49 (1998), pp. 271-283.

- * 「消費の世代間分配に関する実証研究」, 齊藤誠, 『日本経済研究』36: 7(1998), 27-49 頁。

- * "Estimating the effects of monetary shocks: An evaluation of different approaches," Paul Beaudry and Makoto Saito, *Journal of Monetary Economics* 42 (1998), pp. 241-260.

- * "Population aging and consumption inequality in Japan," Fumio Ohtake and Makoto Saito, *The Review of Income and Wealth* 44 (1998), pp. 361-381.

- * "Asset pricing in Japan: A communication," Katsura Nakano and Makoto Saito, *Journal of the Japanese and International Economies* 12 (1998), pp. 151-166.

"On numerical calculation programs of American-type options using GAUSS codes," Kenji Miyazaki and Makoto Saito, *Osaka Economic Papers* 48 (1998), pp. 25-54.

- * "On the market risk involved in the public financial system in Japan: A theoretical and numerical investigation," Kenji Miyazaki and Makoto Saito, *Journal of Banking and Finance* 23 (1999), pp. 1243-1259.

「地方自治体の長期財政収支についてのメモ: 実証的な計測」, 齊藤誠, 『大阪大学経済学』3(1999), 233-240 頁。

- * 「所得不平等化の背景とその政策的含意: 年齢階層内効果, 年齢階層間効果, 人口高齢化効果」, 大竹文雄・齊藤誠, 『季刊社会保障研究』35(1999), 65-76 頁。

- * "Dynamic allocation and pricing in incomplete markets," Makoto Saito, *Monetary and Economic Studies* 17 (1999), pp. 45-75.

「高度化した資本市場におけるリスクと流動性: マーケット・メーカーとアービトラージャーの役割」, 齊藤誠, 『フィナンシャル・レビュー』51(1999), 5-27 頁。

「金利期間構造の将来インフレーションに関する情報含意について」, 福田祐一・齊藤誠, 小佐野広・本多佑三編『現代の金融と政策』2000 年 1 月, 日本評論社。

「フォワードディスカウントパズルと流動性効果」, 齊藤誠・福田祐一, 小佐野広・本多佑三編『現代の金融と政策』2000 年 1 月, 日本評論社。

「昨今の金融政策について」, 齊藤誠, 『エコノミックス』2000 年春号, 124-140 頁。

「自然災害リスク・マネジメントにおける市場システムと公的システム」, 齊藤誠, 『エコノミックス』2000 年秋号, 148-160 頁。

「オプション取引データに基づいた状態価格密度の推計について: 大阪証券取引所の事例」, 齊藤誠・高木真吾, 『インベストメント』第 53 巻第 2 号(2000), 21-37 頁。

- * 「世帯構成員の長期療養に起因する経済厚生損失について: 要介護者と寝たきりの経済的コスト」, 岩本康志・小原美紀・齊藤誠, 『季刊社会保障研究』36(2001), 547-560 頁。

- * "Financial crises as the failure of arbitrage: Implications for monetary policy," Makoto Saito and Shigenori

Shiratsuka, Bank of Japan, *Monetary and Economic Studies* 19 (2001), pp. 239-270.

* 「日経平均株価の銘柄入れ替えが個別銘柄の流動性に与えた影響について: 覚え書き」, 齊藤誠・大西雅彦, 『現代ファイナンス』9(2001), 67-82 頁。

「日本の金融政策」, 齊藤誠, 『経済研究』52(2001), 97-106 頁。

「世帯構成員の長期療養に起因する経済厚生損失について: 要介護者と寝たきりの経済的コスト」, 岩本康志・小原美紀・齊藤誠, 岩本康志編著『社会福祉と家族の経済学』2001 年 12 月, 東洋経済新報社。

「情報技術の進展と株式取引の革新」, 齊藤誠, 『エコノミクス』2001 年春号, 66-77 頁。

「財政政策と金融政策の新たな役割分担について」, 齊藤誠, 貝塚啓明編『財政政策の効果と効率性: サステナビリティを求めて』2001 年 7 月, 東洋経済新報社。

「不良債権処理と銀行経営のあり方」, 齊藤誠, 『エコノミクス』2001 年秋号, 32-40 頁。

「資産価格形成における流動性要因: 覚え書き」, 齊藤誠, 『一橋論叢』第 126 巻 4 号(2001 年 10 月号), 386-399 頁。

* "An empirical investigation of intergenerational consumption distribution: A comparison among Japan, the US, and the UK," Makoto Saito, in Seiritsu Ogura, Toshiaki Tachibanaki and David A. Wise eds., *Aging Issues in the United States and Japan* (2001), pp. 135-167, Chicago: The University of Chicago Press.

「流動性需要と資産価格形成: わが国の定期的決済慣行における検証」, 齊藤誠・白塚重典・柳川範之・渡辺努, 齊藤誠・柳川範之編著『流動性の経済学: 金融市場への新たな視点』2002 年 6 月, 東洋経済新報社。

「国債の価格形成とコンベニエンス: 1990 年代後半の日本国債のケース」, 福田祐一・齊藤誠・高木真吾, 齊藤誠・柳川範之編著『流動性の経済学: 金融市場への新たな視点』2002 年 6 月, 東洋経済新報社。

「リスク移転機能から見た日本の金融システム」, 齊藤誠, 齊藤誠編著『日本の金融再生戦略: 新たなシステムの構築をどうするか』2002 年 5 月, 中央経済社。

「自然災害リスクと地価形成: リスク・シグナルとしての地価」, 齊藤誠, 西村清彦編著『不動産市場の経済分析: 情報・税制・都市計画と地価』2002 年 6 月, 日本経済新聞社。

* 「地震危険度と家賃: 耐震対策のための政策的インプリケーション」, 山鹿久木・中川雅之・齊藤誠, 『日本経済研究』第 46 号(2002), 1-21 頁。

* 「地震危険度と地価形成: 東京都の事例」, 山鹿久木・中川雅之・齊藤誠, 『応用地域学研究』第 7 号(2002), 51-62 頁。

* "Forward discount puzzle and liquidity effects: Some evidence from exchange rates among US, Canada, and Japan," Yuichi Fukuda and Makoto Saito, *Journal of Money, Credit, and Banking* 34 (2002), pp. 1014-1033.

* "A test of the full insurance hypothesis: The case of Japan," Miki Kohara, Fumio Ohtake and Makoto Saito, *Journal of the Japanese and International Economies* 16 (2002), pp. 335-352.

* 「市場メカニズムを通じた防災対策について」, 山鹿久木・中川雅之・齊藤誠, 『住宅土地経済』第 49 号(2003), 24-32 頁。

* 「予備的動機と待ちオプション: わが国のマクロ家計貯蓄データによる検証」, 齊藤誠・白塚重典, 『金融研究』第 22 巻第 3 号(2003), 1-22 頁。

* "Precautionary motives versus waiting options: Evidence from aggregate household saving in Japan," Makoto Saito and Shigeru Shiratsuka, *Monetary and Economic Studies* 21 (2003), pp. 1-20.

* 「大規模マクロショック後の流動性回復メカニズム: 米国同時多発テロ直後の東京証券取引所」, 井坂直人・

齊藤誠,『現代ファイナンス』14(2003), 79-96 頁。

- * "On alternatives to aggregate demand policies to revitalize the Japanese Economy," Kiyohiko G. Nishimura and Makoto Saito, *Asian Economic Papers* 2: 3 (2004), pp. 87-126.
- * "Preference for early resolution and commitment," Kenji Miyazaki and Makoto Saito, *Finance Research Letters* 1: 2 (2004), pp. 113-118.
- 「国債発行残高急増と金利リスク: 国債管理政策における物価連動国債の可能性」, 齊藤誠・竹田陽介, 貝塚啓明・財務省財務総合政策研究所編著『財政赤字と日本経済』2005 年 4 月, 77-100 頁, 有斐閣。
- 「リスクファイナンスの役割: 災害リスクマネジメントにおける市場システムと防災政策」, 齊藤誠, 多田納裕一・高木朗義編著『防災の経済分析』2005 年 6 月, 88-106 頁, 勁草書房。
- 「ファイナンス・パズルへの誘い: フォワード・ディスカウント・パズルと政策ショック」, 齊藤誠・福田祐一, 大竹文雄編著『応用経済学への誘い』2005 年 10 月, 137-158 頁, 日本評論社。
- * 「企業内キャッシュフローと企業価値: 日本の株式消却に関する実証研究を通じての考察」, 広瀬純夫・柳川範之・齊藤誠, 『経済研究』56: 1(2005), 30-41 頁。
- * "A note on the robustness of the Tobin effect in incomplete markets," Makoto Saito and Yosuke Takeda, *Macroeconomic Dynamics* 10: 1 (2006), pp. 131-143.
- * "What caused fixed investment to stagnate during the 1990s in Japan?: Evidence from panel data of listed companies," Keiichi Hori, Makoto Saito and Koichi Ando, *Japanese Economic Review* 57: 2 (2006), pp. 283-306.
- "On effects of the Hyogo earthquake on household consumption: A note," Miki Kohara, Fumio Ohtake and Makoto Saito, *Hitotsubashi Journal of Economics* 47: 2 (2006), pp. 219-228.
- 「1990 年代の設備投資の停滞について: 上場企業の財務データからの考察」, 堀敬一・齊藤誠・安藤浩一, 林文夫編著『経済制度の実証分析と設計』全 3 巻, 第 2 巻『金融の機能不全』2007 年 1 月, 3-34 頁, 勁草書房。
- 「ABS 発行市場における劣後引受の役割」, 井坂直人・大橋和彦・齊藤誠, 林文夫編著『経済制度の実証分析と設計』全 3 巻, 第 2 巻『金融の機能不全』2007 年 1 月, 187-222 頁, 勁草書房。
- * "Earthquake risk and housing rents: Evidence from the Tokyo metropolitan area," Masayuki Nakagawa, Makoto Saito and Hisaki Yamaga, *Regional Science and Urban Economics* 37: 1 (2007), pp. 87-99.
- "Forward discount puzzle and official interventions: An empirical note," Yuichi Fukuta and Makoto Saito, *Osaka Economic Papers* 57: 2 (2007), pp. 25-35.
- * 「交通社会資本の危機管理とリスク・マネジメント」, 齊藤誠, 『国際交通安全学会誌』32: 2 (2007), 134-139 頁。
- * "Earthquake risks and land prices: Evidence from the Tokyo metropolitan area," Masayuki Nakagawa, Makoto Saito and Hisaki Yamaga, *The Japanese Economic Review* 60: 2 (2009), pp. 208-222.
- * 「家計消費と設備投資の代替性について: 最近の日本経済の資本蓄積を踏まえて」, 齊藤誠, 『現代経済学の潮流 2008』2008 年 8 月, 27-68 頁, 東洋経済新報社。
- * "Risk premiums versus waiting-options premiums: A simple numerical example," Kenji Miyazaki and Makoto Saito, *The B. E. Journal of Theoretical Economics* 9: 1 (2009), Article 7.
- * "Incomplete financial markets, irreversibility of investments, and fiscal and monetary policy instruments," Kenji Miyazaki, Kiyohiko G. Nishimura and Makoto Saito, *Japanese Economic Review* 60: 3 (2009), pp. 271-300.

- "On empirical implications of highly interest-elastic money demand: A Note," Kiyotaka Nakashima and Makoto Saito, *Hitotsubashi Journal of Economics* 50: 1 (2009), pp. 29-34.
- * "Credit spreads on corporate bonds and the macroeconomy in Japan," Kiyotaka Nakashima and Makoto Saito, *Journal of The Japanese and International Economies* 23: 3 (2009), pp. 309-331.
- * "On the intergenerational sharing of cohort-specific shocks on permanent income," Kenji Miyazaki, Makoto Saito and Tomoaki Yamada, *Macroeconomic Dynamics* 14 (2010), pp. 93-118.
- * 「日本企業の流動性資産保有に関する実証研究：上場企業の財務データを用いたパネル分析」, 堀敬一・安藤浩一・齊藤誠, 『現代ファイナンス』27, 2010 年 3 月, 3-24 頁。
- * "On the consumption insurance effects of long-term care insurance in Japan: Evidence from micro-level household data," Yasushi Iwamoto, Miki Kohara and Makoto Saito, *Journal of The Japanese and International Economies* 24 (2010), pp. 99-115.
- 「長期均衡への収斂としてみた金融危機：金融システム改革へのインプリケーション」, 齊藤誠, 『フィナンシャル・レビュー』2010 年第 3 号。
- 「経済学の基礎としての人間研究：学史的考察 パネル討論 I」, 猪木武徳・堂目卓生・大竹文雄・松井彰彦・齊藤誠, 『現代経済学の潮流 2010』2010 年 9 月, 183-219 頁, 東洋経済新報社。
- 「総会・理事会・常任理事会の議事から見た学会の歩み：学会統合から現代まで」, 太田誠・齊藤誠・柴田章久, 『日本経済学会 75 年史：回顧と展望』2010 年 10 月, 65-162 頁, 有斐閣。
- 「機関誌編集から見た日本経済学会の歩み」, 齊藤誠, 『日本経済学会 75 年史：回顧と展望』2010 年 10 月, 165-191 頁, 有斐閣。
- 「大会報告論文と機関誌経済論文から見る研究分野と研究スタイルの変遷」, 齊藤誠・柴田章久・鈴木史馬・顧濤, 『日本経済学会 75 年史：回顧と展望』2010 年 10 月, 193-234 頁, 有斐閣。
- 「討論 4 人間研究と新古典派経済学との距離感覚について：オーソドックスな経済学を擁護する立場から」, 齊藤誠, 『日本経済学会 75 年史：回顧と展望』2010 年 10 月, 447-462 頁, 有斐閣。
- 「ヘドニック・アプローチにおける地価公示データのパネル構造の活用について」, 中川雅之・齊藤誠・山鹿久木, 『住宅土地経済』79 (2011), 18-25 頁。
- * 「東京都における地域危険度ランキングの変化が地価の相対水準に及ぼす非対称的な影響について：市場データによるプロスペクト理論の検証」, 顧濤・中川雅之・齊藤誠・山鹿久木, 『行動経済学』第 4 巻 (2011), 1-19 頁。
- 「東京都内の家計向け地震保険加入率・付帯率の決定メカニズムに関するノート」, 齊藤誠・顧濤, 『一橋経済学』第 5 巻第 1 号 (2011), 75-82 頁。
- * 「活断層リスクの社会的認知と活断層帯周辺の地価形成の関係について：上町断層帯のケース」, 顧濤・中川雅之・齊藤誠・山鹿久木, 『応用地域学研究』第 16 巻 (2011), 27-41 頁。
- 「自己資本比率規制のマクロ経済学的な根拠について」, 齊藤誠, 『一橋ビジネスレビュー』第 59 巻第 2 号 (2011), 38-48 頁。
- 「普通の産業技術として見た軽水炉発電技術」, 齊藤誠, 『一橋ビジネスレビュー』第 59 巻第 4 号 (2012), 22-32 頁。
- * 「マンション再生投資に関する実証分析」, 中川雅之, 齊藤誠, 『住宅土地経済』第 84 号 (2012), 10-17 頁。
- * "On the comparison of alternative specifications for money demand: The case of extremely low-interest rate regimes in Japan," Kiyotaka Nakashima and Makoto Saito, *Journal of The Japanese and International Economies* 26: 3 (2012), pp. 454-471.

* "Persistent catastrophic shocks and equity premiums: A note," Makoto Saito and Shiba Suzuki,
Macroeconomic Dynamics (forthcoming).

(c) 翻訳

『新地平のマクロ経済学：ケインズとシュンペーターの再考』, ピーター・ホーイット著, 岡村宗二・北村宏隆・齊藤誠編訳, 1996 年 1 月, 勁草書房。

『環境リスク管理：市場性と保険可能性』, ポール・フリーマン・ハワード・クンルーサー著, 齊藤誠・堀之内美樹訳, 2001 年 7 月, 勁草書房。

(d) その他

「人口高齢化と資産価格：最近の理論研究と実証研究の動向について」, 齊藤誠, 『証券アナリストジャーナル』2008 年 10 月号。

「社会資本のリスクマネジメント：経済学の観点から」, 齊藤誠, 『運輸と経済』2010 年 1 月号。

「バーゼル銀行監督委員会による自己資本規制の経済学的評価について：資産価格決定モデルから見た不可思議さ」, 齊藤誠, 『金融調査研究会報告書(46)』2011 年 7 月。

キャス・サンスティーン著, 田沢恭子訳『最悪のシナリオ：巨大にリスクにどこまで備えるのか』(みすず書房, 2012 年 8 月)へ解説を寄稿。 解説掲載ページ 301-313 頁。

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には*)

2008 年度日本経済学会春季大会, 2008 年 6 月 1 日, 「企業の流動性資産保有と投資の決定要因について：上場企業の財務データを用いたパネル分析」(堀敬一・安藤浩一・齊藤誠)を報告。

2008 年度日本経済学会秋季大会, 2008 年 9 月 15 日, 日本経済学会・石川賞講演を司会。

2009 Far East and South Asia Meeting, 2009 年 8 月 3 日から 5 日, 東京大学, でプログラム・コミティーに参加。

2009 年度日本経済学会秋季大会, 2009 年 10 月 10 日, 「カタストロフィックなショックと負の株式リスクプレミアム」(鈴木史馬・齊藤誠)をポスター報告, 「パネル討論 I：経済学の基礎としての人間研究：学史的考察」を討論。

2010 International Conference: Future of Central Banking under Globalization, May 26 - 27, 2010, "Can cross-border financial markets create good collateral in a crisis?" Makoto Saito, Shiba Suzuki and Tomoaki Yamada を報告。

2010 年度日本経済学会春季大会, 2010 年 6 月 5 日, "On a Comparison of Alternative Specifications of Highly Interest-elastic Money Demand under a Liquidity Trap in Japan," Kiyotaka Nakashima and Makoto Saito を報告, 「東京都における地震危険度の変化が地価形成に及ぼす影響について：市場データによるプロスペクト理論の検証」(顧濤・鈴木史馬・中川雅之・齊藤誠・山鹿久木)をポスター報告。

大阪大学グローバル COE・行動経済学コンファレンス, 2010 年 7 月 10 日から 11 日, 「地震保険選択におけるコンテキスト効果について」(佐藤主光・齊藤誠), 「マンション建て替え時におけるコンテキスト効果について」(中川雅之・齊藤誠), 「活断層リスクの認知について：上町断層帯のケース」(中川雅之・山鹿久木・齊藤誠・鈴木史馬・顧濤), 「耐震等級の視覚的評価：アイトラッカーを用いた attention の分析」(竹内幹・齊藤誠)を報告。

2010 年度日本経済学会秋季大会, 2010 年 9 月 18 日, 「活断層リスクの認知について：上町断層帯のケース」

(顧濤・中川雅之・齊藤誠・山鹿久木)をポスター報告。

Participating in a panel discussion on The Electric Power Crisis in Japan, NBER Japan Project Meeting, June 29, 2012, Asian Development Bank Institute, Tokyo.

(b) 国内研究プロジェクト

科学研究費基盤研究 C, 「双方向の国際資金循環の決定メカニズムについて」(研究代表者・齊藤誠), 2007 - 2010 年度。

近未来の課題解決を目指した実証的社会科学推進事業, 「高質の住宅ストックを生み出し支える社会システムの設計」(研究代表者・齊藤誠), 2008 - 2012 年度。

科学研究費基盤研究 A, 「ダウンスライジング環境における土地・住宅ストックの効率的再構築に関する研究」(研究代表者・齊藤誠), 2012 - 2016 年度。

文部科学省委託研究「東日本大震災学術研究・経済班」2012 - 2014 年度。

(d) 研究集会オーガナイズ

第 1 回冬季マクロ経済学研究会, 2009 年 2 月 27 日 - 3 月 1 日, IPC 生産性国際交流センター。

第 2 回冬季マクロ経済学研究会, 2010 年 2 月 27 - 28 日, 琵琶湖リゾートクラブ。

大阪大学グローバル COE・行動経済学コンファレンス, 2010 年 7 月 10 - 11 日, 大阪大学社会経済研究所。

C. 受賞

2001 年, 齊藤誠著『金融技術の考え方・使い方: リスクと流動性の経済学』にて, 第 44 回日経・経済図書文化賞受賞。

2002 年, 分担執筆, 岩本康志編著『社会福祉と家族の経済学』にて, 第 3 回 NIRA 大来政策研究賞受賞。

2005 年, 分担執筆, 西村清彦編著『不動産市場の経済分析: 情報・税制・都市計画と地価』にて, 平成 16 年度不動産学会著作賞(学術部門)受賞。

2007 年, 日本経済学会・石川賞受賞。

2008 年, 齊藤誠著『資産価格とマクロ経済』にて, 第 48 回毎日新聞社エコノミスト賞受賞。

2010 年, 第 17 回全国銀行学術研究振興財団・財団賞受賞。

2012 年, 石橋湛山記念財団・第 33 回石橋湛山賞受賞。

2013 年, 分担執筆, 顧濤・中川雅之・齊藤誠・山鹿久木著「東京都における地域危険度ランキングの変化が地価の相対水準に及ぼす非対称的な影響について: 市場データによるプロスペクト理論の検証」にて, 行動経済学会・第 2 回アサヒビール最優秀論文賞受賞。

7. 学外活動

(a) 他大学講師等

東京大学公共政策大学院 客員教授(2006 年 10 月より 2009 年 9 月まで, 2010 年 10 月より 2012 年 3 月まで)

(b) 所属学会および学術活動

東京経済研究センター, 理事(会計担当)2002 年 5 月 - 2004 年 4 月。

日本経済学会(理論計量経済学会), 理事 2002 - 2005 年。常任理事 2005 - 2008 年。日本経済学会 75 年

史編纂委員会委員 2008 年 4 月 - 2010 年 5 月。

日本ファイナンス学会, 理事 2004 - 2006 年。

金融学会

カナダ経済学会

(c) 公開講座・開放講座

一橋大学グローバル COE プログラム「金融危機に関する公開討論会」, 2008 年 11 月 19 日, 一橋大学兼松講堂にてパネリストとして参加。

関西アカデミア「金融危機から経済危機へ: 景気の行方と政策対応」, 2009 年 3 月 7 日, フェニックスホールにてパネリストとして参加。

開放講座「ポスト金融危機と日本経済」, 2009 年 10 月 15 日, 如水会館にて講演。

金融調査研究会シンポジウム「安定的な経済成長のためのブルーデンス政策のあり方を考える～金融規制改革パッケージの検証と今後の展望～」, 2010 年 12 月 17 日, 銀行会館にてパネリストとして参加。

一橋大学政策フォーラム「等身大の人間行動を考えた地震リスクマネジメントのすすめ」, 2011 年 2 月 24 日, 東京国際フォーラムにてコーディネーターとして参加。

一橋大学政策フォーラム「大震災からの復興を考える」, 2011 年 5 月 26 日, TKY 大手町カンファレンスセンターにて報告及びパネリストとして参加。

大阪大学社会経済研究所・行動経済学研究センター・シンポジウム「行動経済学で地震に備える」, 2011 年 8 月 24 日, 大阪大学中之島センターにてパネリストとして参加。

行動経済学会第 5 回大会・パネルディスカッション「原発事故と行動経済学」, 2011 年 12 月 11 日, 関西学院大学にてパネリストとして参加。

第 9 回関西アカデミアシンポジウム「福島第一原発事故から 1 年: エネルギーのあり方を問う」, 2012 年 3 月 3 日, 梅田スカイビルにてパネリストとして参加。

一橋大学シンポジウム「東日本大震災から一年: 復興への絆と政策課題」, 2012 年 3 月 9 日, 如水会館にてパネリストとして参加。

日本金融学会 2012 年度春季大会・パネル討論「金融危機後の金融規制の新潮流」, 2012 年 5 月 20 日, 立正大学において「自己資本規制のマクロ経済学的な根拠について」を報告。

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ 「眼球運動と経済行動: 選択の決め手は目玉か脳味噌か」, 2012 年 8 月 2 日, 一橋大学にて主催。

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

「政策金融評価検討委員会」(日本政策投資銀行)(2003 年 6 月 - 2008 年 8 月)

「社団法人日本証券アナリスト協会試験委員会試験委員」(2004 年 11 月 -)

「高度人材受入推進会議構成員」(内閣府)(2008 年 8 月 - 2009 年 3 月)

「政策評価・独立行政法人評価委員会委員」(総務省)(2009 年度)

「国家公務員第 I 種試験(経済・記述)試験専門委員」(人事院)(2009 年度, 2010 年度, 2011 年度, 2012 年度)

「金融審議会委員」(金融庁)(2011 年 1 月 - 2011 年 12 月)

「東京電力福島原子力発電所事故調査委員会事務局客員調査員」(2012 年 1 月 - 2012 年 6 月)

9. 一般的言論活動

週刊東洋経済『経済を見る眼』2004年7月より2009年12月まで担当。

「企業と社会をとりもつリスクマネジメント」『書斎の窓』2008年4月号 - 2009年3月号連載。

「座談会：サブプライムローン問題発生後の金融・資本市場」, 菅野雅明・齊藤誠・長谷川克之・籠宮信雄, 『ESP』2008年5月号。

「一級の経済学者が描いたアダムスミスの知的格闘」『フォーサイト』2008年6月号。

「複雑化する国際金融に対応する金融政策とは」『エコノミスト』2008年7月8日号。

「金融危機時には中央銀行の準備預金付利が必要：危機対応のために金融政策を犠牲にしない手段」『金融財政事情』2008年10月27日号。

「金融危機と企業経営：『強い円』を活かした双方向の資金循環の可能性」『グローバル経営』2008年12月号。

「金融危機が浮かび上がらせた日本経済の危機と機会」『世界』2009年2月号。

「市民レベルの内需振興策：眼に見えない豊かさ 工夫次第」朝日新聞 2009年3月31日夕刊・東海版。

「75周年迎える日本経済学会：市場の尊重 粘り強く説く」日本経済新聞『経済教室』2009年10月8日。

「低生産性・高コスト脱却を」日本経済新聞『経済教室』2010年8月13日。

「デフレ日本 長期低迷の検証 第3回 低生産性・高コスト構造を自覚せよ」『週刊ダイヤモンド』2010年10月9日。

「行動経済学に基づいた新しい制度設計—住宅市場を中心として」, 齊藤誠, 中川雅之, 佐藤主光, 竹内幹, 『経済セミナー』2011年2・3月号。

「"穏やかな介入主義"の可能性」朝日新聞『GLOBE』2011年2月7日。

「マンションの耐震性向上へ、高水準の仕様に誘導を」, 中川雅之, 齊藤誠, 日本経済新聞『経済教室』2011年2月11日。

「地震保険の普及に向けた"穏やかな誘導"」, 佐藤主光, 齊藤誠, 『エコノミスト』2011年3月22日号。

「対談 日本を作り直すためにはどんな経済政策が必要でしょう?」, 池上彰, 齊藤誠, 『日経ビジネス 2011年版新しい経済の教科書』2011年5月。

「震災前から震災後を考える：石巻を歩いて」『経済セミナー』2011年8・9月号。

「鼎談 既存ツールを活かした適正サイズの復興を」, 大竹文雄, 玄田有史, 齊藤誠, 『経済セミナー増刊』2011年9月。

「自己資本比率規制のマクロ経済学的な根拠について」『一橋ビジネスレビュー』2011年AUT.59巻2号。

「『縮んで伸びる』という発想 震災後の状況に創造的に対応するために」『HQ』2011年OCT. 32巻。